



令和5年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和5年5月15日

上場会社名 極東産機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6233 URL <https://www.kyokuto-sanki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771
 四半期報告書提出予定日 令和5年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年9月期第2四半期の連結業績（令和4年10月1日～令和5年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年9月期第2四半期	4,819	2.9	232	41.3	189	26.4	127	31.4
4年9月期第2四半期	4,686	0.2	164	△8.3	150	△26.4	97	△35.9

(注) 包括利益 5年9月期第2四半期 135百万円 (33.1%) 4年9月期第2四半期 101百万円 (△36.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年9月期第2四半期	23.72	—
4年9月期第2四半期	18.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年9月期第2四半期	10,247	2,922	28.5
4年9月期	10,430	2,841	27.2

(参考) 自己資本 5年9月期第2四半期 2,922百万円 4年9月期 2,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
5年9月期	—	0.00	—	—	—
5年9月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年9月期の連結業績予想（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	6.4	350	53.2	305	56.6	200	39.4	37.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年9月期2Q	5,391,000株	4年9月期	5,391,000株
② 期末自己株式数	5年9月期2Q	28株	4年9月期	28株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年9月期2Q	5,390,972株	4年9月期2Q	5,390,972株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、ロシアのウクライナ侵攻、国際的なサプライチェーンの停滞、消費財をはじめとした物価高騰、原材料や商品の仕入れ納期長期化と値上げのダブルパンチ等の不確実な環境が続いたものの、新型コロナウイルス感染症第8波の収束とも相まって、景気は緩やかな回復傾向が続きました。

そうした経営環境の中、当社におきましては、インダストリーセグメントが引き続き好調に推移して全社の業績を牽引したのに加えて、プロフェッショナルセグメントも堅調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,819百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益232百万円（同41.3%増）、経常利益189百万円（同26.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益127百万円（同31.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業は、新総合カタログ発刊前、すなわち値上げ前の駆け込み受注が令和4年9月に積み上がった反動が残ったために、リアルの大規模展示会の復活が売上に寄与したものの、売上高は前年同期をやや下回りました。一方、同カタログにおける価格の見直しにより収益は改善いたしました。昼事業ではリモート営業方式での営業活動のさらなる展開等により、昼店の「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（中小企業庁）及び「事業再構築補助金」（中小企業庁）申請における当社機器使用の案件採択は順調でしたが、補助金交付時期の影響等で売上ずれ込みが発生しました。その結果、プロフェッショナルセグメントの売上高は3,557百万円（前年同期比2.6%減）となり、営業利益168百万円（同9.9%増）となりました。

②コンシューマセグメント

コンシューマ事業は、フィットネスクラブ向け防音・防振床材が好調を維持し、ソーラー・エネルギー事業も、SDGs推進の観点から期待する法人向け市場の開拓はまだ不十分なものの、中規模案件の工事着工が増加いたしました。棺用量の需要回復は緩やかで、住宅向けの畳替え需要は依然として回復できておりません。その結果、コンシューマセグメントの売上高は380百万円（前年同期比6.0%増）、営業損失1百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）となりました。

③インダストリーセグメント

産業機器事業は、第1四半期連結会計期間から引き続いて、主要製品である二次電池製造装置のリピート受注や、その他の生産設備案件の引き合いが増加し、年度売上目標を超える受注が確保できた上、かねてからの受注案件も予定通り完成・出荷することができました。食品機器事業につきましても、大手飲食チェーンからのマルチディスペンサーの引き合いは徐々に回復してまいりました。その結果、インダストリーセグメントの売上高は698百万円（前年同期比71.0%増）、営業利益80百万円（同342.5%増）となりました。

④ニュー・インダストリーセグメント

令和2年10月1日に子会社化した株式会社ROSECCを当セグメントに位置付けております。得意とする自動車関連業界に加えて、住宅設備関連業界の開拓を進めております。当連結会計年度の引き合いは順調で大型案件を受注できているものの、上半期は大型案件の売上が低調に推移しました。その結果、ニュー・インダストリーセグメントの売上高は183百万円（前年同期比31.6%減）、営業損失15百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ182百万円減少し、10,247百万円となりました。資産のうち流動資産は、棚卸資産が147百万円増加しましたが、電子記録債権が208百万円減少、その他が65百万円減少したこと等により、106百万円の減少となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が64百万円減少、無形固定資産及び投資その他の資産が合計で12百万円減少したことにより、76百万円の減少となりました。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ264百万円減少し、7,325百万円となりました。負債のうち流動負債は、支払手形及び買掛金が104百万円減少、電子記録債務が227百万円減少、その他が368百万円減少したこと等により、622百万円の減少となりました。固定負債につきましては、主に長期借入金が362百万円増加したことにより、358百万円の増加となりました。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、2,922百万円となりました。これは、主に利益剰余金が73百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ89百万円増加し、1,176百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、資金は23百万円の増加（前年同四半期は101百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益189百万円、減価償却費114百万円、売上債権及び契約資産の減少210百万円、未払又は未収消費税等の増減額137百万円の資金増加要因が、棚卸資産の増加147百万円、仕入債務の減少331百万円、契約負債の減少61百万円、未払金の減少105百万円等の資金減少要因を上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、資金は260百万円の減少（前年同四半期は453百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出295百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、資金は326百万円の増加（前年同四半期は269百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入れによる収入510百万円の資金増加要因が、長期借入金の返済による支出93百万円、配当金の支払53百万円等の資金減少要因を上回ったためであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、令和4年11月15日の「令和4年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,497,062	1,528,202
受取手形、売掛金及び契約資産	1,898,641	1,887,019
電子記録債権	1,026,000	817,622
商品及び製品	704,424	862,729
仕掛品	268,383	234,741
原材料及び貯蔵品	368,875	392,121
その他	180,204	114,989
貸倒引当金	△126	△77
流動資産合計	5,943,466	5,837,348
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,681,115	1,644,260
土地	1,415,008	1,415,008
その他（純額）	689,661	661,855
有形固定資産合計	3,785,785	3,721,124
無形固定資産		
のれん	78,143	73,259
その他	136,217	116,639
無形固定資産合計	214,361	189,898
投資その他の資産		
その他	488,938	501,240
貸倒引当金	△1,699	△1,699
投資その他の資産合計	487,239	499,540
固定資産合計	4,487,385	4,410,563
資産合計	10,430,851	10,247,912
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	920,510	816,170
電子記録債務	1,342,435	1,115,099
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	189,083	243,318
未払法人税等	24,893	69,600
製品保証引当金	1,940	1,610
賞与引当金	141,362	126,105
役員賞与引当金	10,600	4,500
その他	686,005	317,753
流動負債合計	5,016,830	4,394,157
固定負債		
長期借入金	1,929,159	2,291,817
役員退職慰労引当金	253,900	266,100
退職給付に係る負債	334,227	326,363
その他	55,445	46,672
固定負債合計	2,572,732	2,930,952
負債合計	7,589,563	7,325,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,112	631,112
資本剰余金	481,062	481,062
利益剰余金	1,769,343	1,843,289
自己株式	△20	△20
株主資本合計	2,881,499	2,955,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,641	6,408
退職給付に係る調整累計額	△42,852	△39,051
その他の包括利益累計額合計	△40,210	△32,642
純資産合計	2,841,288	2,922,802
負債純資産合計	10,430,851	10,247,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)
売上高	4,686,226	4,819,879
売上原価	3,237,300	3,264,605
売上総利益	1,448,925	1,555,273
販売費及び一般管理費	1,284,519	1,323,001
営業利益	164,406	232,272
営業外収益		
受取利息	743	517
受取配当金	351	262
受取保険金	11,887	334
受取補償金	438	2,386
その他	6,948	5,485
営業外収益合計	20,368	8,987
営業外費用		
支払利息	9,958	12,229
売上割引	10,461	11,425
支払手数料	10,176	24,432
その他	4,101	3,513
営業外費用合計	34,698	51,601
経常利益	150,076	189,657
税金等調整前四半期純利益	150,076	189,657
法人税、住民税及び事業税	38,494	56,699
法人税等調整額	14,290	5,102
法人税等合計	52,785	61,801
四半期純利益	97,291	127,855
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,291	127,855

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)
四半期純利益	97,291	127,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,197	3,767
退職給付に係る調整額	3,269	3,800
その他の包括利益合計	4,466	7,567
四半期包括利益	101,758	135,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,758	135,423
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	150,076	189,657
減価償却費	86,383	114,508
のれん償却額	4,883	4,883
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	△48
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,150	△15,257
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△110	△330
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,690	△6,100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,382	△7,864
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	3,269	3,800
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,300	12,200
受取利息及び受取配当金	△1,094	△780
支払利息	9,958	12,229
支払手数料	10,176	24,432
受取保険金	△11,887	△334
受取補償金	△438	△2,386
補助金収入	△531	△909
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△422,008	210,447
棚卸資産の増減額(△は増加)	△163,044	△147,908
仕入債務の増減額(△は減少)	450,823	△331,104
契約負債の増減額(△は減少)	69,758	△61,233
未払金の増減額(△は減少)	△6,756	△105,725
未払費用の増減額(△は減少)	△3,584	△8,943
未払又は未収消費税等の増減額	9,696	137,326
その他	△11,774	24,518
小計	159,890	45,079
利息及び配当金の受取額	792	563
利息の支払額	△9,245	△12,346
保険金の受取額	11,887	334
補償金の受取額	438	2,386
補助金の受取額	531	909
法人税等の支払額	△62,976	△13,400
法人税等の還付額	5	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,324	23,526
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	58,199	58,199
有形固定資産の取得による支出	△406,123	△295,886
無形固定資産の取得による支出	△80,552	△11,673
その他	△25,398	△11,337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△453,874	△260,698
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	275,000
短期借入金の返済による支出	—	△275,000
長期借入れによる収入	965,520	510,300
長期借入金の返済による支出	△620,146	△93,407
リース債務の返済による支出	△11,994	△11,881
配当金の支払額	△53,909	△53,909
その他	△9,871	△24,589
財務活動によるキャッシュ・フロー	269,598	326,512

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△82,951	89,339
現金及び現金同等物の期首残高	1,155,091	1,087,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,072,140	1,176,691

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	1,338,022	266,298	396,525	192,996	2,193,843
商品	2,278,396	68,486	3,295	53,361	2,403,540
その他	33,982	23,909	8,687	22,262	88,842
顧客との契約から生じる収益	3,650,400	358,694	408,509	268,621	4,686,226
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,650,400	358,694	408,509	268,621	4,686,226
セグメント利益又は損失(△)	153,675	△6,906	18,212	△575	164,406

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	1,199,286	273,776	683,623	80,868	2,237,555
商品	2,318,151	83,738	4,990	75,300	2,482,179
その他	39,648	22,863	10,077	27,553	100,143
顧客との契約から生じる収益	3,557,086	380,379	698,690	183,723	4,819,879
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,557,086	380,379	698,690	183,723	4,819,879
セグメント利益又は損失(△)	168,868	△1,701	80,593	△15,485	232,274

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	232,274
セグメント間取引消去	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	232,272